

「富士山世界文化遺産登録」を考える 講演とシンポジウム

「富士山世界文化遺産登録推進静岡・山梨両県合同会議」は、『いつまでも「富士山」を世界文化遺産に』『世界文化遺産登録はゴールでなく、富士山を守るための新たなスタートです。"世界の宝" 富士山を後世に末永く引き継いでいくため、皆様のご協力をお願いします。』とパンフレットで呼びかけています。

すでに、皆さんもご存知のとおり「富士山世界文化遺産」は、富士山を含めて25の構成資産から成り立っています。(裏面 参照) そのため、私たち静岡県民は、富士山「世界文化遺産登録」を歓迎するとともに「文化遺産・富士山」はどうあるべきか、真正面に向き合っていく必要があるのです。

特に「世界文化遺産・富士山」は、登録と同時に2016年の第40回世界遺産委員会において審査できるように2016年2月1日までに世界遺産センターに「保全状況報告書」の提出が求められています。そのため、場合によっては富士山の世界文化遺産登録は2年間の期限付きになる場合もあります。

そこで、「世界の宝物」として「世界文化遺産」に登録された『富士山』を「孫の代、後世まで、どのように残していくのか。」が問われているのです。

そのための、『講演とシンポジウム』を開催します。是非多くの方の参加を願っています。

日時 2014年6月21日(土) 受付13:00~ 開始 13:15~16:30
会場 富士市文化会館ロゼシアター第1会議室(4階) 駐車場あります
内容 講演(13:30~14:45)

演題 『富士山世界文化遺産登録』をお祭り騒ぎだけにしてはいけない!

—富士山の「光と影」—

講師 渡辺 豊博氏(都留文科大学教授・元静岡県職員)

シンポジウム(15:00~16:15)

シンポジウムは、それぞれの関係者から

現状と課題・問題点を述べていただきます。 (印)

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ① 宮崎 善旦氏(富士宮市観光協会会長・富士宮市在住) | —富士山と観光— |
| ② 渡辺 希一氏(御殿場市平和委員会・小山町在住) | —富士山と基地— |
| ③ 石川 明夫氏(富士山エコレンジャー・富士宮市在住) | —富士山と登山— |
| ④ 渡辺 豊博氏(都留文科大学教授・元静岡県職員・三島市在住) | —富士山と環境— |

* 当日、会場から発言を希望される方は、事前にご連絡して下さい。(概ね3分以内)

参加費 300円(資料代)

主催 「富士山世界文化遺産登録」を考える講演とシンポジウム実行委員会

連絡先・申込み先 静岡県地方自治研究所

〒422-8062 静岡市駿河区稲川2丁目2-1 コハラサウスサイド7F 静岡自治労連内

TEL 054-282-4060 FAX 054-282-4057

e-mail jichiken@s-jichiroren.com

切 り 取 り 線

参加発言申込書【6月18日(水)までに提出して下さい。参加のみの者は、直接会場においで下さい】

氏 名	団 体 名 等	住 所 (T E L)	備 考
	個人 団体 ()	TEL — —	発言テーマ

世界遺産 富士山—信仰の対象と芸術の源泉 [構成資産]

古より数多くの信仰と芸術を生み出した富士山に関わる文化財には、その山体だけでなく、周囲にある神社や登山道、風穴、溶岩樹型、湖沼などがあります。これらの文化財は、富士山の価値を構成する資産(構成資産/構成要素)として現在まで受け継がれてきました。ここでは世界遺産(文化遺産)としてふさわしい価値を有している富士山の構成資産/構成要素について紹介します。

構成資産分布図



1 富士山域 (静岡県・山梨県)

富士山の世界遺産(文化遺産)としての価値は、富士山が神聖で荘厳な景観をもとに「信仰の対象」と「芸術の源泉」になってきた点であると考えています。この富士山の価値にとって特に重要な地域(標高約1,500m以上)を資産範囲としています。その理由は有名な絵画に描かれた範囲が重なり合う部分にあたり、信仰の上では神聖性の境界のひとつであった「馬返」以上にあたるからです。この範囲の中には、浅間大神が鎮座するとされる八合目以上や、現在発行されている千円札等に採用された本栖湖からの景観が含まれています。



1-1 山頂の信仰遺跡群 (静岡県・山梨県)

山頂には、火口縁に沿って神社等の手続所遺跡が分布しています。富士山への登拝が開始されると、寺社の造営や仏像等の奉納が行われるようになり、山頂部における宗教行為が体系化されていきました。山頂において「ご来光(日の出)」を拝むことや、頂部を巡る「お鉢めぐり」の行為は、現代においても多くの登山者が行っており、これらを通じて富士山信仰の核心が現代にも確実に受け継がれています。